

東邦看護学会誌投稿規定

1. 投稿者の資格

筆頭著者は、原則として本学会員であること。但し、編集委員会から依頼された論文についてはこの限りではない。

2. 論文の種類

1) 論文は、看護および看護教育の向上・発展に寄与し得るものであり、他誌（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。また、本誌投稿中に他誌への投稿をしてはならない。

2) 論文の種類は、総説、原著、報告、資料、その他であり、希望する論文の種類を明記する。

3) 論文の種類の内容は、下記のとおりである。

【総説】特定のテーマについて文献考察を行い、当該テーマについて総合的に現状と展望を明らかにしたもの。

【原著】独創的で新しい知見が論理的に示されており、学術や社会にとって意義の高いもの。

【報告】看護実践などの研究結果を発表することにより、看護の向上や発展が見込めるもの。

【資料】看護学に関連する有用な調査データや文献検討など、会員の参考になるもの。

【その他】上記以外に、編集委員会が適当と認めたもの。

3. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中（研究倫理審査委員会での承認、承認番号）に明記されていること。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を参照して確認する。

4. 投稿手続き

1) 論文の投稿は電子投稿システムで行う。投稿の方法は本学会 Web サイトの電子投稿システムに従う。

東邦看護学会 Web サイト:

<https://www.n-gakai.toho-u.ac.jp/journal.html>

(東邦看護学会誌のページ)

5. 論文の受付及び採否

- 1) 論文の受付締め切りは7月15日（必着）とする。
- 2) 投稿原稿の受付日は、オンライン投稿システムに投稿された日とする。
- 3) 投稿論文の採否は、査読を経て編集委員会が決定する。
- 4) 採否は本人に通知し、論文は返却しない。
- 5) 編集委員会は、投稿論文について修正を求めることがある。その場合には定められた期日までに再提出すること。
- 6) 編集委員会の判定により、論文の種類の変更を著者に求めることがある。

6. 論文執筆要領

- 1) 論文はA4版横書きとし、1頁は40字×30行とする。総説、原著、報告、資料とも13枚以内（約15000字）とする。ただし、引用文献と謝辞は文字数の規定外とする。
- 2) 図表および写真は、A4版1枚を1200字程度とする。
- 3) 図表および写真は、図1、表1、写真1などと番号をつけ、本文とは別にし、本文の後ろにつける。図表および写真は白黒を原則とする。
- 4) 本文の見出し順位は、以下の順とする。
I. II. III. → 1. 2. 3. → 1) 2) 3) → (1) (2) (3)
- 5) 本文の構成は原則として以下のとおりとする。
I. 諸言：研究の背景・目的
II. 方法：対象・調査方法・調査内容・分析方法・倫理的配慮
III. 結果：研究等の結果
IV. 考察：結果の考察・評価
V. 結語：結論・おわりに
- 6) 原著、報告を希望する場合には、和文要旨400字程度をつける。要旨は、表題、キーワードを記載し、構造化抄録（目的、方法、結果、考察）の形式とする。また、原著希望の場合には和文要旨の他に英文要旨250words程度をつける。
- 7) 学会、研究会等で発表したものは末尾にその旨を明記する。
- 8) 文献から引用した場合は、引用箇所¹⁾ ²⁾ …と

半角英数字・上付きの肩番号を付す。番号は日本語・英語文献問わず、引用順とする。複数の論文を引用する場合は、^{1) 2) 3)}と連続した肩番号を付す。同じ文献を繰り返し引用する場合は、新たな番号は付さず、初出時の番号をそのまま用いる。

- 9) 引用文献は、論文末尾に一括して使用した順に記す。著者が4名以上の場合は、3名までを記載し、それ以降の著者は、“他”(et al.)と省略する。記載方法は次の形式による。

①雑誌の場合 著者名：表題名、雑誌名（英語雑誌は斜字）、巻（号）：最初の頁－最後の頁、西暦年次。

例) 出野慶子, 河上智香, 天野里奈 他：1型糖尿病をもつ年少の子どもを養育する父親の役割. 日本糖尿病教育・看護学会, 18 (1) : 33 - 39, 2014.

例) Murakami Y, Okamura H, Sugano K, et al.: Psychological distress after disclosure of genetic test results regarding Hereditary Nonpolyposis Colorectal Cancer - a preliminary report-. Cancer, 101 (2) : 395-403, 2004.

②単行本の場合 編著者名：書名（版）、引用頁（－頁）、出版社名、発行地、西暦年次。

例) 高木廣文：質的研究を科学する. 120, 医学書院, 東京, 2011.

例) Benner, P.: From Novice to Expert. 212, Prentice Hall, New Jersey, 2001.

③翻訳書の場合 原著者名：訳者名：書名（版）、引用頁（－頁）、出版社名、発行地、訳書出版西暦年次。

例) Glaser, B. G., Strauss, A. L. : 木下康仁：「死のアウェアネス理論」と看護 (1版). 65 - 80, 医学書院, 東京, 1988.

④ホームページの場合 著者名：タイトル (URL アドレス、閲覧年月日)

例) 厚生労働省：平成18年病院報告の概況 (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/byouinhokoku/18/index.html>, 2010. 12. 20)

7. 著者校正

著者校正は1回とし、誤字脱字等の修正のみとする。校正時の大幅な加筆、修正は原則として認めない。

8. 著者が負担すべき費用

- 1) 規定枚数を超過した分については所要経費を実費負担とする。
- 2) 図表等、印刷上特別な費用を必要とした場合は実費負担とする。

9. 著作権

投稿論文のすべての著作権は本学会に帰属する。掲載後は本学会の承認なしに他誌に掲載することを禁ずる。

著作権譲渡同意書に、著者（共著者を含む）全員が自記筆で署名し、最終論文提出時に論文とともに送付する。

10. 利益相反

謝辞（あるいは助成等）の欄の次に、当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無を記載する。利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を明記する。利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

附 則

この規定は、2011年2月2日から施行する。

この規定は、2012年2月27日から施行する。

この規定は、2015年5月8日から施行する。

この規定は、2016年3月8日から施行する。

この規定は、2017年3月15日から施行する。

この規定は、2018年3月15日から施行する。

この規定は、2020年3月15日から施行する。

この規定は、2021年3月15日から施行する。

この規定は、2022年3月15日から施行する。

この規定は、2023年4月1日から施行する。

この規定は、2024年4月1日から施行する。